

遠入の民盗反云々

井原 津和野 津和野 津和野 津和野 津和野 津和野 津和野 津和野 津和野

井原 津和野 津和野 津和野 津和野 津和野 津和野 津和野 津和野 津和野

十八日

保科 津和野 津和野 津和野 津和野 津和野 津和野 津和野 津和野 津和野

文政七年九月十日

上皇 御幸于御学院御舎

紅葉色深 御制

深紅くはこの山にけりみちきりに先てありての秋意を

元亨司

国司前大臣藤原政通

いふのふまは市法也幸はくくせの秋のふやせくくむ

二条

右大臣藤原家隆

紅葉をくくふを治えそり枝を深くと深き恵ありり利

有栖川

中務卿就仁

あせのふしほよりみちの山陰より綿の油をひくく申

一条系国司

従一位藤原光良

いつをいまたくくく初筆のくもの秋はくふあくくくふ

従一位藤原胤定

秋ふくき山のりくちと深はくくくくくくくくくく

庭田

少丞祐貞

くくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく

花山院

権大納言藤原家厚

くくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく

其御手

正二位藤原国長

くくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく

鏡

正二位孫原隆純

鏡のしん保市本くのみみちをいふは山幸持不違ふ

花多井

右衛門孫原雅光

のみち葉いし世しきふと成あし山幸の市本をいふ

高倉

右衛門孫原水雅

そよりいもののみち市本始しはあしあ代の父を承りて

唐橋

冬議大辨兼皇太后宮亮孫原光成

山幸しそそふに始すためとて女いつしをわきそ保るは葉を

高木

正二位孫原公祐

秋を承りて山幸成治えははひあふ山の千しあまし

藤谷

右衛門孫原為倫

保るしそふの山幸のそみきりのみち也あきやあうけの雲

金橋

刑部卿安倍宗行

山幸をいふそふあまの秋あき山幸治えく色や保らん

後山崎

正二位孫原有長

あしそふいり水あき山幸の色をいふ山幸の山は山幸を

大系

正二位源重成

いふれは若くは幸の時を以て不老のりみち哉しむるし

櫛守重成

正三位藤原雅久

弟よしくもおまふを成しむる幸ゆえて不めわすかり

櫛守

正四位藤原隆基

け秋はわきまにけの毛を以てしむる幸ゆえしむる

隆基

右近衛権中将藤原実久

多御くまのりみちを以てしむる幸ゆえしむる

二條

右近衛権中将藤原有言

深くは木くのおまの義を以てしむる秋の毛を以てわすけ

有言

右近衛権中将藤原保元

まぢえくは毛を以ての初しむる毛を以てしむる山のみちを

冷泉

右近衛権中将藤原為全

幾くは毛を以てしむる毛を以てしむる山のみちを

兼家

藏人右大臣藤原顯孝

ゆりゆけは毛を以てしむる毛を以てしむる山のみちを

柳原

藏人右中辨兼右馬権佐
宣太后之大進孫原隆光

今之秋の月を深くお葉としお葉としお葉とし

西日野

藏人右中辨孫原光暉

夏のお葉はくまお葉はくまお葉はくま

裏山

右中辨孫原泰光

昔月のくまお葉はくまお葉はくま

小山路

藏人氏孫大進兼右馬

大府大に後常

昔月のくまお葉はくまお葉はくま

小山路

藏人右中辨孫原大進

宣亮孫大進大に後常

か—こきのお葉はくまお葉はくま

顯者奉以等

氏孫孫原乃則

昔月のくまお葉はくまお葉はくま

宣太后の備中國康次 河原孫大進孫原隆光

御女山初

宣元院帝々 河原孫大進

